



PhoenixTM 
Phoenix Temperature Measurement 

HTS07システム

鉄鋼プロセス用



...where experience counts!

Phoenix™ HTS07システム 鉄鋼プロセス用

データロガー

フェニックスTMのデータロガーは、厳しい工業環境での使用に耐えるよう設計されています。電子回路は頑丈なアルミニウムケースで防水保護されています。ノイズ除去及びエラー検出付温度補償は、正確で信頼できるデータを確実にします。

オプションの双方向通信可能な無線遠隔測定は、データロガーのリセット・ダウンロードを遠隔で行うことができ、リアルタイムにデータを分析することができます。

全てのロガーは、国家標準にトレースされた校正証明書付です。必要ならばオプションで、UKAS (イギリス) やDKD (ドイツ) の校正証明書も提供可能です。

利便性と将来的に参照にしたい場合に、オリジナルの証明書のコピーとキャリブレーションデータは、データロガー内に格納され必要に応じてアクセスすることができます。



型式	PTM1-206HT, PTM1-210HT, PTM1-220HT
チャンネル数	6, 10, 20
熱電対タイプ	KまたはN
測定レンジ	タイプK: -100°C ~ +1370°C タイプN: -100°C ~ +1300°C
精度	+/- 0.3°C
分解能	0.1°C
動作可能最大内部温度	110°C
電池タイプ	単三リチウムバッテリー x 2個
測定周期	0.2秒から1時間の間で調整可能 全てのチャンネル選択時においても)
メモリー	最大3,800,000データ、不揮発性メモリー
スタート方法	時間、温度、ボタン、ソフトウェア
PC接続	有線接続またはBluetooth
寸法	20 x 98 x 200mm (h x w x l)

オプションとして双方向無線伝送も可能です。



頑丈で水に強いケースは、厳しい環境で使用できます。



Bluetooth(Bluetooth) PC接続



標準電池:
測定時間1000時間可能



温度プロファイルとは何か？

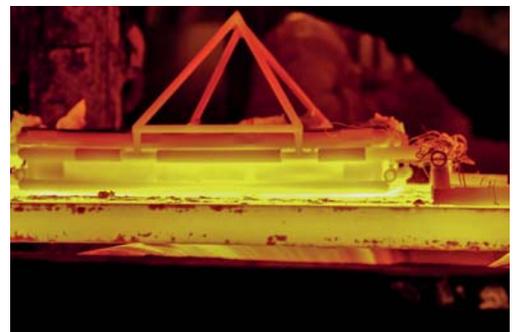
工業用のオープンや炉はゾーン制御のための熱電対を使用しています。しかしながら、これらの熱電対はそれぞれのゾーンの雰囲気温度を測定するだけで、熱処理が正しく行われたかどうかを判断するための極めて大切な製品温度を示すものではありません。

フェニックスTMは、問題を解決できます。

我々のシステムは、正確な熱バランスを得るために製品に接続された最大20本の熱電対から温度を記録し、炉内を製品と一緒に通過していきます。システムは工程を中断することなく、製品と一緒にラインに入れることができ、製品温度の本当の姿を得ることができます。

測定後には、強力な分析機能を持ったソフトウェアでデータを分析することにより、仕様に合っていたかを確定できます。

測定試験は迅速に炉内の問題を解決し、お客様に一貫して工程が管理されていることを保証します。





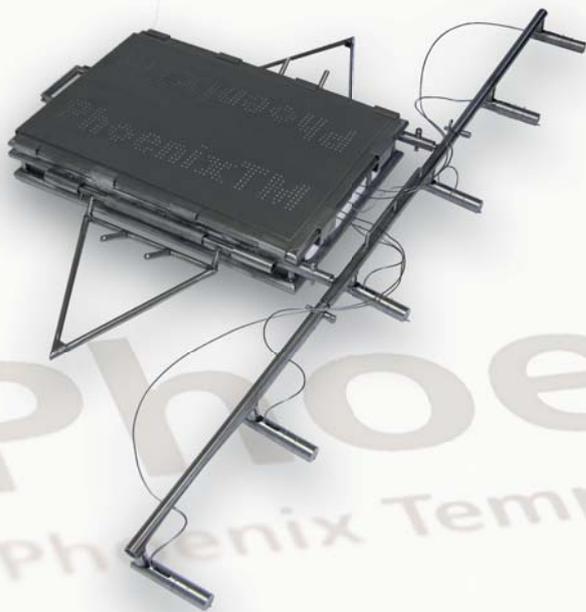
TS07耐熱ボックス

TS07耐熱ボックスは、特にスラブやビレットの奥深くの温度データを要求される鉄鋼業界用に開発されました。いくつかの耐熱層と蒸発式の内部バリアーで構成され、10チャンネルまたは20チャンネルデータロガーが使用可能です。最高1350°Cの温度で繰り返し使用できるように設計されています。

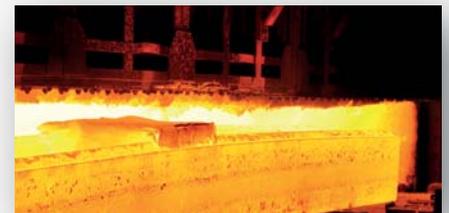


標準TS07耐熱ボックスの仕様

型式	TS07-265 (Billet)	TS07-300 (Slab)	TS07-100 (Mini-Mill)
1200°C/h	3.0	9.0	0.7
1300°C/h	2.5	7.5	
高さ mm	265	300	100
幅 mm	285	595	1500 (arms)
長さ mm	615	707	838
重量/Kg	40.6 / 45.0	61.0 / 88.0	38.0 / 44.2



TS07-100耐熱ボックスは、ミニミル (CSP) 用に特別に設計されています。表面温度と雰囲気温度を測定できるように熱電対を保持するサポートアームが付属しています。システムは、フォルダーサスペンションアームによりスラブ上の低い位置を常に移動します。フォルダーサスペンションアームが、スラブ上の一番低い位置の測定を可能にします。



高温仕様の材質は、最高1350°Cで繰り返し使用できます。



熱電対クランプを備えたログアレイは、データロガーの収納、取出しが容易です。

貴社の工程にどんな耐熱ボックスが必要ですか？
要求事項をお知らせください。貴社に合わせて設計致します。
私たちは、常に開発を続け、新しいチャレンジを楽しみにしています。

熱電対

再加熱工程では、直径3mmのシース熱電対が一般的です。取扱いの容易さからPTFEのリード付が便利です。



再加熱工程では、正しい深さの箇所を正確に測定するため、プッシュが使用されます。



短い時間のミニミルの工程には、表面及び雰囲気測定のため、早い応答性と曲げやすさから直径2mmの熱電対が使用されます。

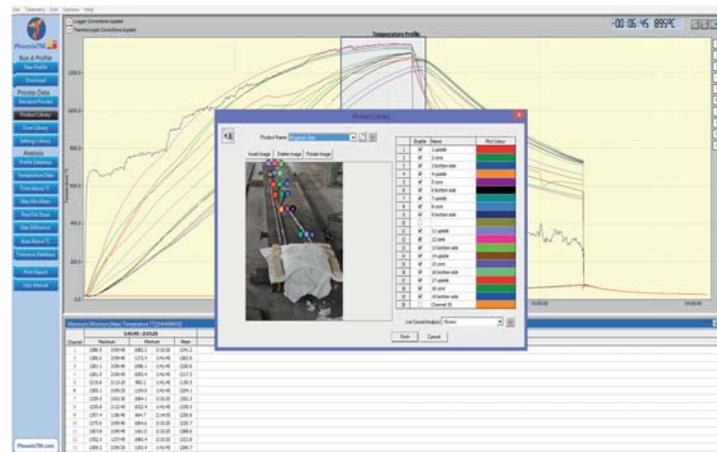
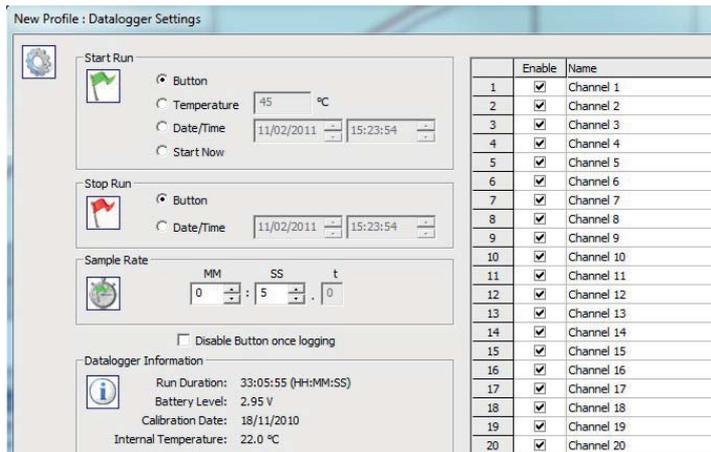


Thermal View Plus

完璧な結果を得るための簡単な方法



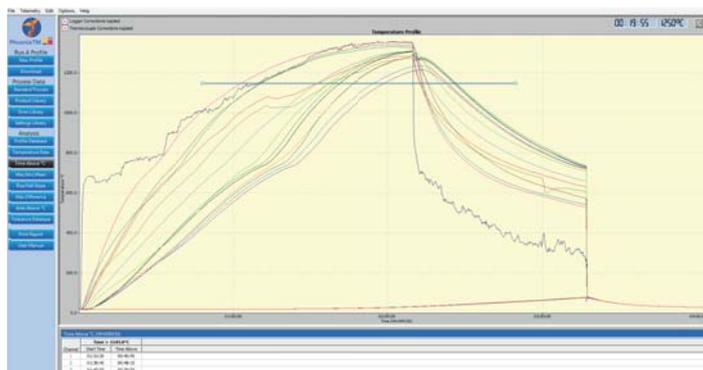
PhoenixTM
Phoenix Temperature Measurement



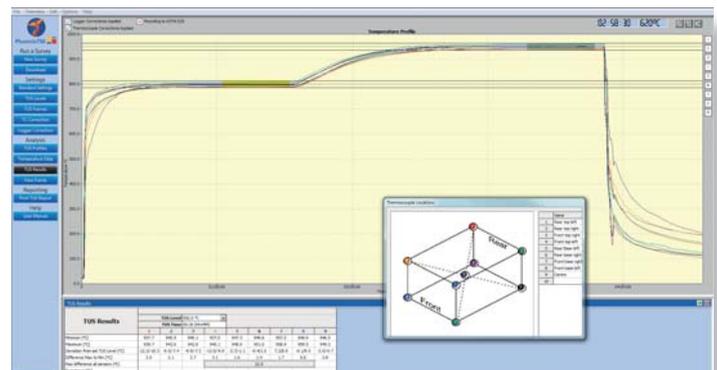
単純な入力

- どのようにデータロガーをスタートするか？
 - 測定周期は？
 - 使用する熱電対の数は？
- データロガーのスタートボタンを押して下さい。

サーマルビューソフトウェアのグラフィックウィンドウに温度プロフィールが表示されます。個々の熱電対の表示をオン・オフできます。詳細な分析には、ズーム機能が使用できます。



シングルクリックで、分析あるいはレポートを作成できるようにスクリーンの左側に分析ツールボタンをわかりやすく配置しています。



別のソフト、サーマルビューサーベイソフトでは、AMS2750の要求事項に合ったサーベイが可能です。熱電対及びデータロガーの誤差補正係数やTUSレベル、許容範囲、ラックの詳細図、オーバーシュートの検出、データのインポート/エクスポート、AMS2750検査報告書の機能を備えています。デモバージョンをご要望の方は、お問い合わせを！



PhoenixTM Ltd
25 Earith Business Park
Meadow Drove,
Earith, Cambridgeshire
PE28 3QF, UK
Tel.: +44 1353 223100



www.Phoenixtm.com
sales@phoenixtm.com

NISSODEN

本社: 愛知県愛知郡東郷町大字春木字仲田4-1
東京営業所: 東京都文京区本駒込2-27-15

Tel.: +81(0)561 38 0211 www.nissoden.co.jp
+81(0)3-5319-4663 [niso@nissoden.co.jp](mailto:nisso@nissoden.co.jp)

PhoenixTM LLC, USA
info@phoenixtm.com

PhoenixTM GmbH, Germany
info@phoenixtm.de